

和歌山市産業振興アクションプラン (中期 R2-R4)

和歌山市
令和2年4月

目次

第1章 産業振興アクションプランについて	1
1 位置付け	1
2 中期アクションプラン	1
第2章 前期アクションプランの総括	2
1 目標達成状況【全11項目】	2
2 主な取組実績	4
第3章 和歌山市の産業の現状（産業振興ビジョン策定時からの変化）	8
1 産業全体及びサービス産業の状況	8
2 製造業の状況	12
3 観光の状況	14
4 農業・漁業の状況	16
5 雇用の状況	18
6 開業・廃業の状況	19
第4章 産業を取り巻く環境の変化	20
1 和歌山市の産業を取り巻く環境の変化	20
2 国内の産業を取り巻く環境の変化	21
第5章 産業振興ビジョンのテーマ・戦略に基づく取組	22
1 産業振興ビジョンの4つの戦略テーマ及び12の戦略	22
2 戦略ごとのアクションプラン	23
テーマ1 既存企業の更なる成長促進	23
【1-1】製造業の強みを次世代に引き継ぐための中核的企業の発掘と成長促進	23
【1-2】歴史と伝統ある産業の持続的な発展を目指すためのブランド化	24
【1-3】地域の生活を支えるサービス産業の生産性向上	25
テーマ2 新事業創出と産業間連携等の促進	26
【2-1】生活を豊かにする新ビジネスの創出と創業者の育成	26
【2-2】和歌山の特産品・特性を活かしたコラボレーションの促進	27
【2-3】和歌山の魅力を総動員した企業立地の推進	28
テーマ3 観光の稼ぐ力の強化	29
【3-1】地域資源の再評価等によるブランド力の強化と観光資源の創出	29
【3-2】和歌山観光の効果的プロモーションによる滞在型観光の促進	30
【3-3】外国人観光客の誘客拡大	31
テーマ4 産業を支える「ひと」の確保と「まち」の形成	32
【4-1】和歌山を愛し、暮らし働く人材の育成・確保	32
【4-2】女性・高齢者など誰もが働きやすい環境づくり	33
【4-3】産業を支えるまちづくりの推進	34
第6章 中期アクションプランの目標	35
【別記】経済状況等に対応した緊急的な取組について	36

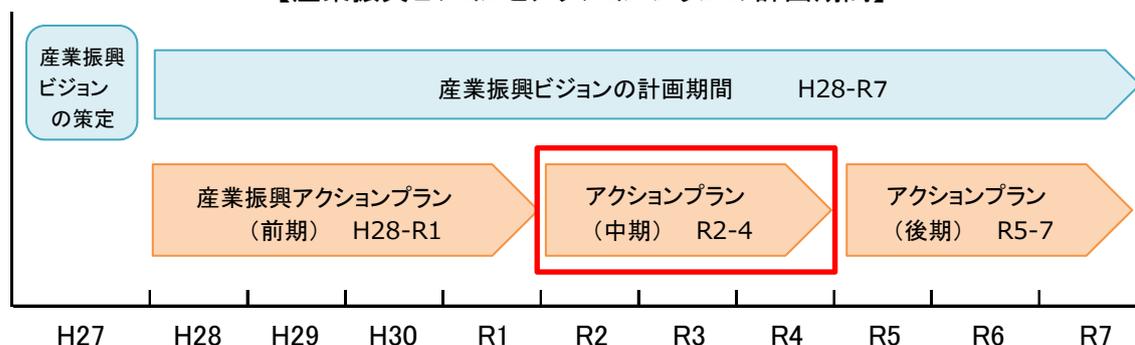
第1章 産業振興アクションプランについて

1 位置付け

本市では、平成28年3月に和歌山市産業振興ビジョンを策定しました。産業振興ビジョンは、本市の上位計画である長期総合計画と整合性を図りながら定める産業振興の基本計画です。その産業振興ビジョンの実効性を担保するために、ビジョンの戦略に基づく具体的な取組を検討・事業化し、アクションプランとして取りまとめ、進捗管理を図っていくこととしています。

アクションプランは、ビジョンの計画期間である平成28年度から令和7年度を、前期（平成28年度から平成31年度）、中期（令和2年度から令和4年度）、後期（令和5年度から令和7年度）の3期に分けて作成する各期の主要事業を示す実施計画で、本計画が中期にあたります。

【産業振興ビジョンとアクションプランの計画期間】



2 中期アクションプラン

(1) 計画期間

令和2（2020）年度から令和4（2022）年度までとします。

(2) 構成

本アクションプランは、事業名、事業内容、実施期間等を記載した取組を、産業振興ビジョンの4つの戦略テーマ及び12の戦略ごとにまとめています。

また、アクションプラン全体の達成度を測るための成果目標を設定しています。

(3) 特色

前期アクションプランでは、産業資源・人的資源の発掘や磨き上げや産業の海外展開など、産業振興の基盤となる幅広い事業に取り組んできました。

中期アクションプランでは、前期で取り組んできた事業の成果や本市の産業を取り巻く環境変化等を踏まえ、令和2年度から4年度にかけて取り組んでいくべき主要な事業について掲載しています。

アクションプランに掲載している事業は、予算が確定していないものや、検討段階のものを含みます。それらの事業は、予算編成作業（補正予算等を含む）や議会の議決を経て確定していくものですので、取扱いにはご注意ください。

第2章 前期アクションプランの総括

1 目標達成状況【全11項目】

○ = 目標達成または目標達成見込み	3項目
(3) 創業件数 (5) 農業産出額 (6) 年間宿泊客数	
△ = 伸びているが目標達成には伸び率が足りない	6項目
(1) 製造業の粗付加価値額 (2) サービス産業の労働生産性 (4) 企業誘致による新規雇用者数 (7) 観光消費額 (8) 転入者数 (10) 有業率	
× = 策定時よりも下落している	2項目
(9) 高校生の市内就職率(市高) (11) まちなか居住人口の比率	

テーマ1 既存産業の更なる成長促進

テーマ2 新事業創出と産業間連携等の促進

(1) 製造業の粗付加価値額 △

策定(H27)時の値	直近の現状値	目標値(H31年)
5,691億円【H26年】	5,706億円【H30年】	5,981億円

(2) サービス産業の労働生産性 △

策定(H27)時の値	直近の現状値	目標値(H31年)
402万円/人【H24年】 (全国平均485万円)	413万円/人【H28年】 (全国平均499万円)	全国平均に近づける

(3) 創業件数 ○

策定(H27)時の値	直近の現状値	目標値(H31年)
83件【H27年】	357件【H28~30年】	272件(4年累計)

(4) 企業誘致による新規雇用者数 △

策定(H27)時の値	直近の現状値	目標値(H31年)
51人【H25年】	239人【H28~30年】	336人(4年累計)

(5) 農業産出額 ○

策定(H27)時の値	直近の現状値	目標値(H31年)
60.9億円※【H26年】	69.5億円【H29年】	60.9億円

※ 前期アクションプラン策定時の現状値及び目標値は74.5億円と記載されているが、H27年以降で農業産出額計算方法が変更になっているため、新計算方法に基づき同数値を74.5億円から60.9億円に修正。

テーマ3 観光の稼ぐ力の強化

(6) 年間宿泊客数 ○

策定 (H27) 時の値	直近の現状値	目標値 (H31 年)
83.9 万人泊【H27 年】	101.6 万人泊【R1 年】	101 万人泊

(7) 観光消費額 △

策定 (H27) 時の値	直近の現状値	目標値 (H31 年)
440 億円【H27 年】	496 億円【R1 年】	499 億円

テーマ4 産業を支える「ひと」の確保と「まち」の形成

(8) 転入者数 △

策定 (H27) 時の値	直近の現状値	目標値 (H31 年)
8,738 人【H27 年】	8,775 人【H30 年】	9,200 人

(9) 高校生の市内就職率 (市高) ×

策定 (H27) 時の値	直近の現状値	目標値 (H31 年)
87.1%【H27 年】	78.9%【H30 年】	91.3%

(10) 有業率 △

策定 (H27) 時の値	直近の現状値	目標値 (H31 年)
52.5%【H24 年】 (全国平均 58.1%)	53.9%【H29 年】 (全国平均 59.7%)	全国平均に近づける

(11) まちなか居住人口の比率 ×

策定 (H27) 時の値	直近の現状値	目標値 (H31 年)
8.9%【H27 年】	8.8%【H30 年】	9.0%

2 主な取組実績

(1) 戦略テーマ1 既存産業の更なる成長促進

【1-1】製造業の強みを次世代に引き継ぐための中核的企業の発掘と成長促進

【1-2】歴史と伝統ある産業の持続的な発展を目指すためのブランド化

●ビジネスチャンス創出支援事業の創設（H29-）と拡充（H30-）【新規】

中小企業の新たなビジネスチャンス創出を図り、新しい和歌山発の地域ブランドの確立に繋げるため、自社製品の開発改良、新製品の広告宣伝、国内及び海外展示会への出展にかかる費用に対して補助金を交付しました。

●チャレンジ新商品認定事業の拡充、更なるブランド向上支援（H29-）【拡充】

H29年度から、チャレンジ新商品認定事業にて認定を受けた新商品についてビジネスチャンス創出支援事業を活用する場合、補助上限額を上乗せして補助金を交付することとしました。また、H30年度から、同一年度に認定されたチャレンジ新商品の中からグランプリを決定し、さらなる補助上限額の上乗せを適用することとしました。

ビジネスチャンス創出支援事業補助実績

H29年度		H30年度		R元年度	
件数	うちチャレンジ	件数	うちチャレンジ	件数	うちチャレンジ
15件	3件	27件	6件	18件	6件

R元年度チャレンジ新商品グランプリ



嚥下カトレーニングボトル「タン練くん」

(株)リハートテック

お茶やジュースなどの飲料を入れて飲むことで、日常的に喉のトレーニングを行うことができるボトル型の訓練用具。誤嚥性肺炎で苦しんでいる人を少しでも楽にしたいという思いで作られた商品。

【1-3】地域の生活を支えるサービス産業の生産性向上

●金融機関と連携した生産性向上セミナーの開催（H30-）【新規】

平成30年度、令和元年度に、本市と産業振興に係る連携協定を締結している金融機関と共催で生産性向上セミナーを開催しました。

年度	開催日時	参加者数（実績）
H30年度	平成30年7月10日	66名
R元年度	令和元年7月26日	66名



●IT・IoT導入支援補助事業の創設（R元～）【新規】

市内の事業者が開発又は販売を行うIT・IoTツールを導入する市内中小企業者に対して補助金を交付し、市内中小企業者の生産性向上とともに、市内企業間のリレーション構築・強化を図りました。

(2) 戦略テーマ2 新事業創出と産業間連携等の促進

【2-1】生活を豊かにする新ビジネスの創出と創業者の育成

●創業支援事業（創業支援ネットワーク）による支援（H27-）【継続】

平成27年に認定を受けた和歌山市創業支援事業計画に基づき、関係機関と連携して創業に関する相談窓口、創業支援セミナー、金融支援、販路開拓支援などの取組を行い、創業前から創業後に至るまでのステージに応じた切れ目ない支援を実施しました。

創業支援による創業者数（目標と実績）

期間	目標	実績
H27～H30年度	276	438

【2-2】和歌山の特産品・特性を活かしたコラボレーションの促進

●異業種交流・マッチングの機会創出（H30-）【新規】

平成30年10月に包括連携協定を締結した明治安田生命保険相互会社が主催する異業種交流会に市内企業が参加できるよう、当社と連携を図っています。平成31年2月、同社主催で大阪市にて開催された異業種交流会に市内企業2社が参加しました。

【2-3】和歌山の魅力を総動員した企業立地の推進

●企業立地促進奨励金制度の対象業種の拡充（H28-）【拡充】

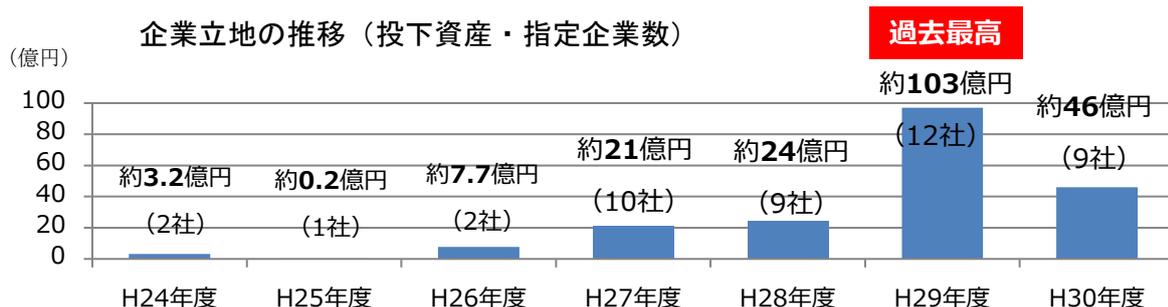
企業立地奨励金制度の対象業種にホテル・旅館業を追加し、平成29年度に初となるホテル・旅館業の企業に対する奨励金の交付指定を行いました。



平成30年8月、和歌浦の老舗旅館「岡徳楼」の跡地に、エーゲ海風ホテル「EPICCHARIS（エピカリス）」がオープン。市の企業立地奨励金制度の指定を受けてオープンした初のホテルとなりました。

●IT関連事業者への新たな支援制度の創設（H29-）【新規】

まちなかエリアに立地するIT等情報通信サービス事業者に対して、オフィス賃料の半額を3年間助成する制度を創設し、3企業に対し助成金の交付指定を行いました。



(3) 戦略テーマ3 観光の稼ぐ力の強化

【3-1】地域資源の再評価等によるブランド力の強化と観光資源の創出

●日本遺産への申請・認定とその後のPR活動（H28-）【継続】

平成29年4月に「絶景の宝庫 和歌の浦」が日本遺産に認定されました。以後、和歌山県と本市、海南市、各観光協会など和歌の浦日本遺産活用推進協議会を設立して各種PR活動に取り組むことにより、和歌浦への観光入込客数も増加傾向にあります。

日本遺産認定前後の和歌浦への観光入込客数 () = 対平成28年比

平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
3,069,257人	3,113,521人 (1.4%増)	3,251,812人 (5.9%増)	3,346,458人 (9.0%増)

●天守閣前売店改修事業（H28-29）、和歌山城公園動物園事業（H29-）【新規】

老朽化していた天守閣前の売店を和風の建物に改修し、平成30年4月から軽食ができる機能を併せ持った「お天守茶屋」としてリニューアルオープンしました。

また、和歌山城公園動物園については、平成30年度から民間委託することでSNSを活用した情報発信や各種のふれあい体験事業に取り組むことで、来場者数も増加しつつあります。



平成30年4月に「お天守茶屋」がオープン

【3-2】和歌山観光の効果的プロモーションによる滞在型観光の促進

●観光プロモーション事業（H28-）【拡充】

観光パンフレットの見直し、和歌山市観光協会ホームページのスマホ対応、欧米圏をターゲットに写真のクオリティを意識した英語版ウェブサイト「my secret Wakayama」制作などにより、国内外への観光情報の発信に取り組みました。

my secret
Wakayama



【3-3】外国人観光客の誘客拡大

●クルーズ船の誘致とおもてなし（H28-）【継続】

平成29年に和歌山県クルーズ振興協議会が設立、誘致体制が確立され、大型のクルーズ船が和歌山下津港へ寄港しています。令和元年8月には、県内過去最大となる「ダイヤモンド・プリンセス」が寄港し、市でも各種歓迎イベント等を通じて市内での観光消費拡大に取り組みました。

(4) 戦略テーマ4 産業を支える「ひと」の確保と「まち」の形成

【4-1】和歌山を愛し、暮らし働く人材の育成・確保

●U I Jターン企業面談会、わかやま就職応援プロジェクト事業（H29-）【拡充】

県外の学生のU I Jターン就職促進のための都市部における合同企業説明会、学生と企業のマッチング強化促進のための就活交流会、企業見学のためのバスツアーやインターンシップなどを実施し、市内企業への就職を推進しました。

R元年度実績（参加者数）

合同企業説明会	756人
就活交流会	38人
企業研究会&交流会	44人
企業見学バスツアー	58人
インターンシップ	241人



合同企業説明会



企業見学バスツアー

【4-2】女性・高齢者など誰もが働きやすい環境づくり

●働く女性の活躍推進事業（H28-）【新規】

女性の就職を支援するため、託児付きの合同企業説明会を開催するとともに、企業に対しても、ワーク・ライフ・バランスへの理解を深め、職場環境の改善を支援するためのセミナーを実施しました。

イベント名称	参加者数
合同企業面談会	H28～R元年度累計 595人
ワークライフバランスセミナー	H28～R元年度累計 276人

【4-3】産業を支えるまちづくりの推進

●商業活性化支援事業（H30-）【拡充】

商店街の魅力を発信するために商業団体等が新たに実施する事業に対して補助金を交付する「商店街魅力発信事業」（R元年度実績：6件）、夜間の経済活動を振興させるために商業団体等が実施する事業に対して補助金を交付する「ナイトタイムエコノミー振興事業」（R元年度実績：6件）を実施しました。

商業活性化支援事業での支援例（R元年度）



R元年10月 ぶらくりバイキング
(東ぶらくり丁商店街振興組合) 約12,000人来場



R元年8月 市駅夏まつり
(和歌山市駅地区商店街連盟) 約2,800人来場

第3章 和歌山市の産業の現状（産業振興ビジョン策定時からの変化）

1 産業全体及びサービス産業の状況

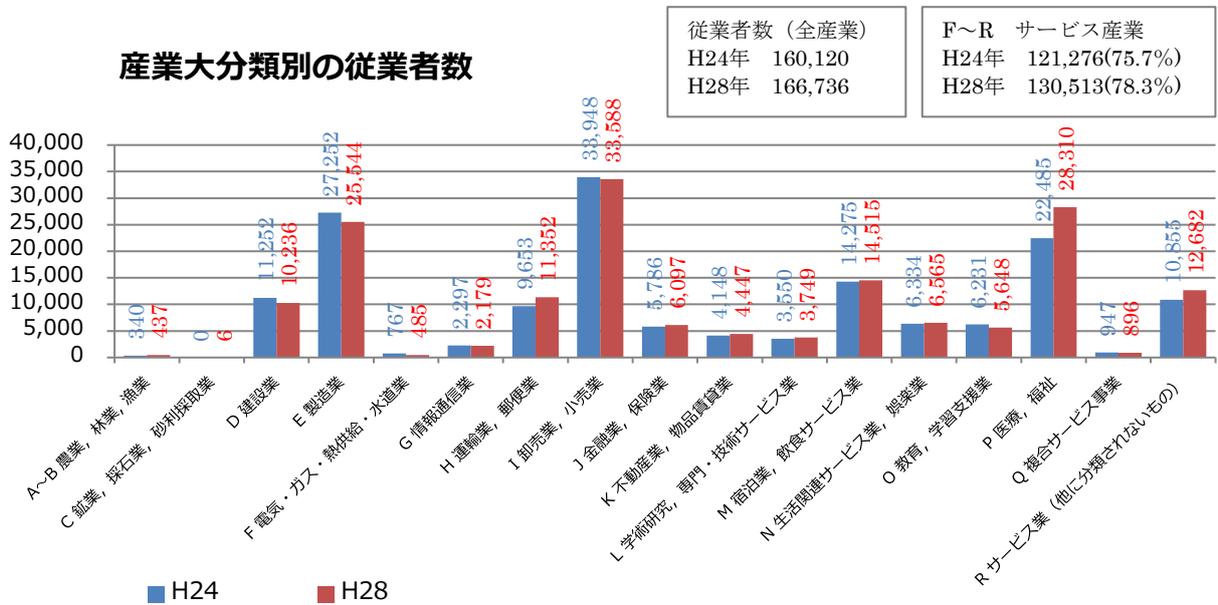
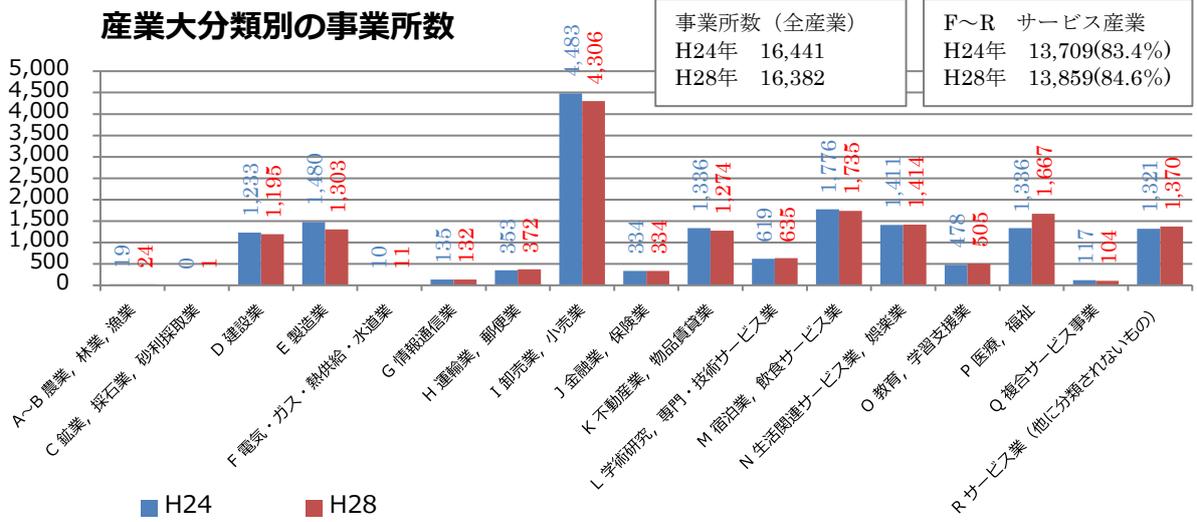
【産業全体】

- 産業全体では、事業所数は減少し、従業者数は増加しています。
- 事業所数・従業者数ともに、「製造業」「卸売業，小売業」などが減少する一方で、「医療，福祉」「サービス業（他に分類されないもの）」などは増加しており、第2次産業（製造業）から第3次産業（サービス産業）へのシフトが進んでいます。ただし、「製造業」は従業者数が減少しているものの、依然として全従業者数の15.3%（H24年は17.0%）を占めており、大きな雇用を生み出しています。
- 従業者数について全国平均と比較すると、「運輸業，郵便業」「金融業，保険業」「医療，福祉」などの従業者数の割合が高く、「情報通信業」「学術研究，専門・技術サービス業」などの従業者数の割合が低くなっています。また、「運輸業，郵便業」「金融業，保険業」などの従業者数の伸び率が全国平均を上回っています。
- 産業全体で付加価値額が増加しています。また、「製造業」「運輸業，郵便業」「医療，福祉」などの産業全体に占める割合が高まっています。
- 産業全体で労働生産性は高まっており、特に「製造業」「運輸業，郵便業」「金融業，保険業」などの伸び率が高くなっています。
- 産業全体での労働生産性は、全国平均には届かないものの、全国平均よりも伸び率が高く、差が縮まっています。特に、「製造業」「医療，福祉」などでは全国平均よりも労働生産性が高くなっています。
- 「製造業」は、従業者数が減少しているものの、付加価値額、労働生産性ともに大きく伸ばしており、産業全体の付加価値額と労働生産性の上昇を牽引しています。

【サービス産業】

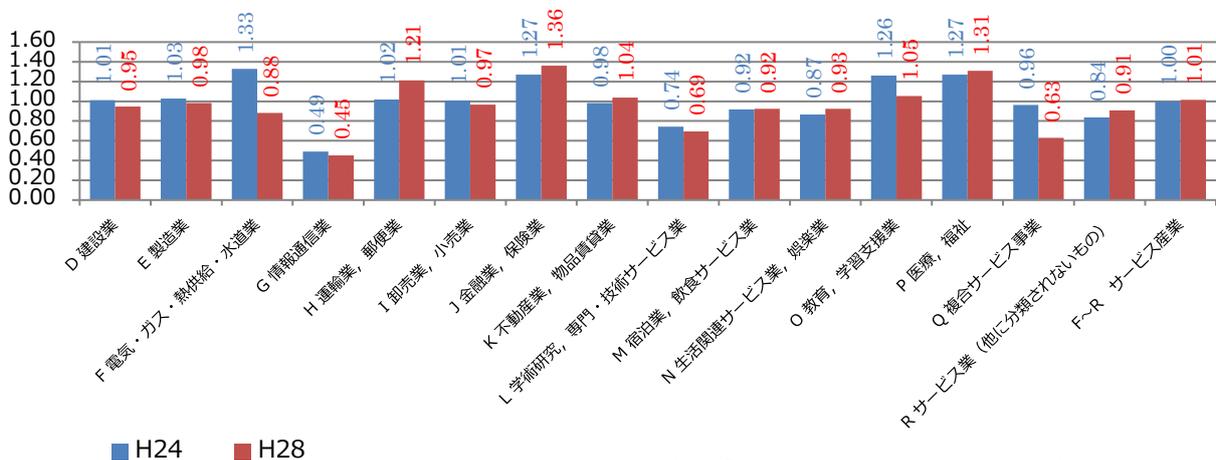
- サービス産業（F～R）では、事業所数、従業者数ともに増加しています。
- サービス産業（G～R）について、付加価値額、労働生産性はともに高まっています。ただし、全国平均と比べると、労働生産性もその伸び率も低くなっています。
- 「運輸業，郵便業」が事業所数、従業者数、付加価値額ともに伸びており、全産業に占める割合が高まりつつあります。従業者数や付加価値額の特化係数も伸びていることから、全国平均と比較しても伸び率が大きくなっています。
- ビジョン策定時も同じ傾向が見られましたが、「医療，福祉」が事業所数、従業者数、付加価値額ともに大きく伸び続けています。
- 「情報通信業」の付加価値額が全国平均と比べて特に低くなっています。
- 「宿泊業，飲食サービス業」の労働生産性は、他業種と比べて特に低い上、全国平均と比べても低い値となっています。

(1) 事業所数・従業者数



(出所) 総務省「経済センサス活動調査」(平成24・28年)

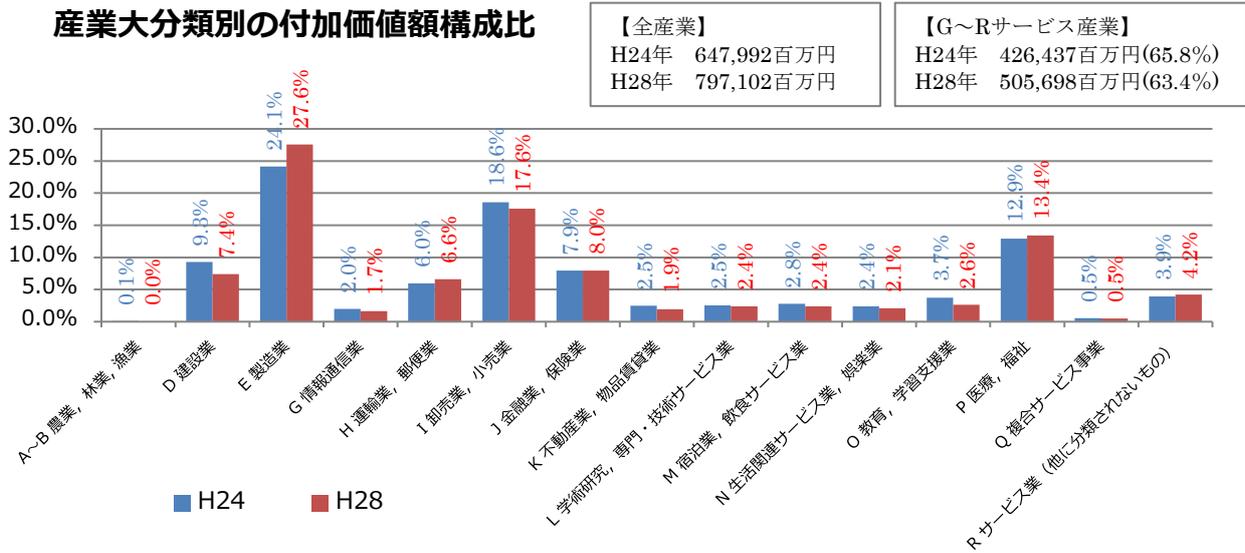
従業者数の特化係数（全国 = 1）



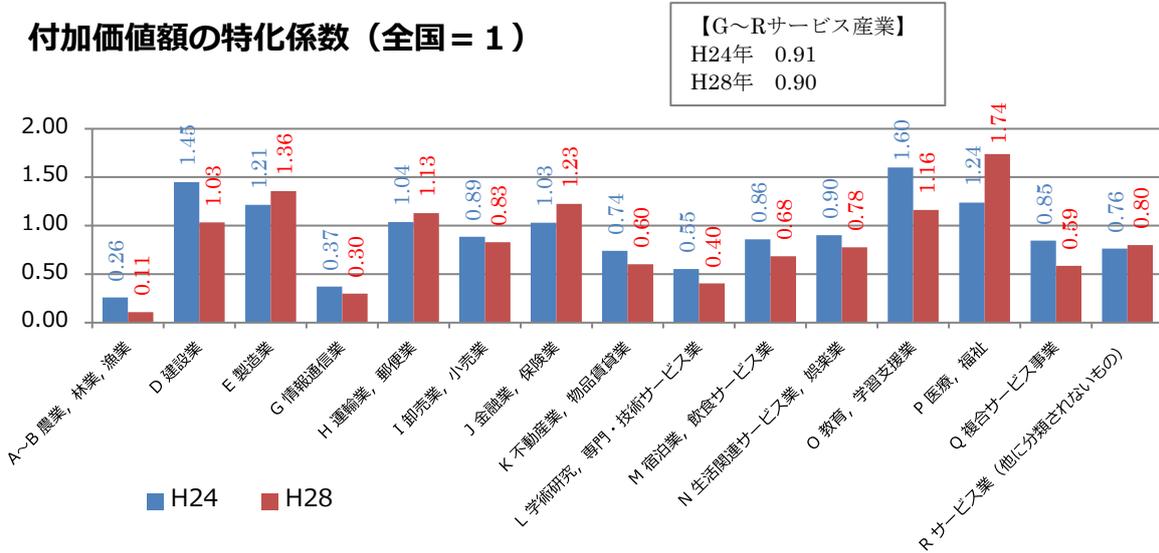
(出所) 総務省「経済センサス活動調査」(平成24・28年)

(2) 付加価値額・労働生産性

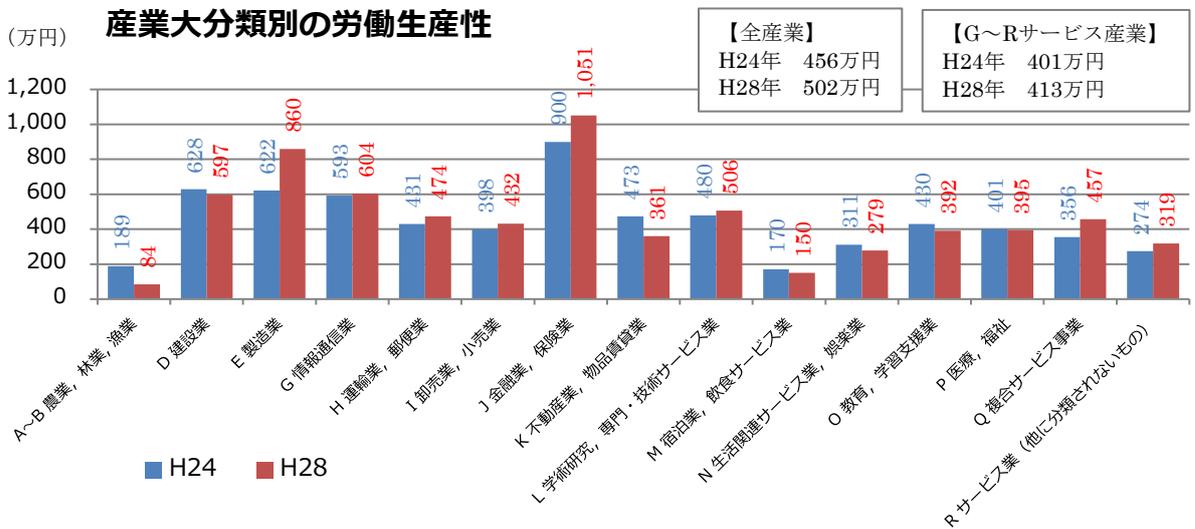
産業大分類別の付加価値額構成比



付加価値額の特化係数 (全国 = 1)

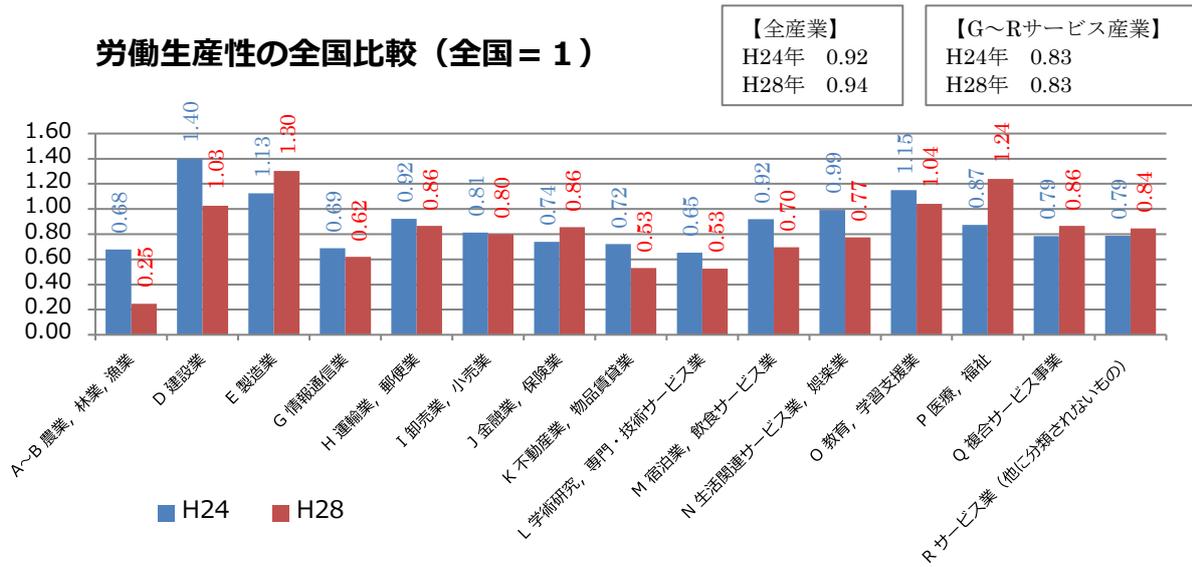


産業大分類別の労働生産性



(出所) 総務省「経済センサス活動調査」(平成24・28年)

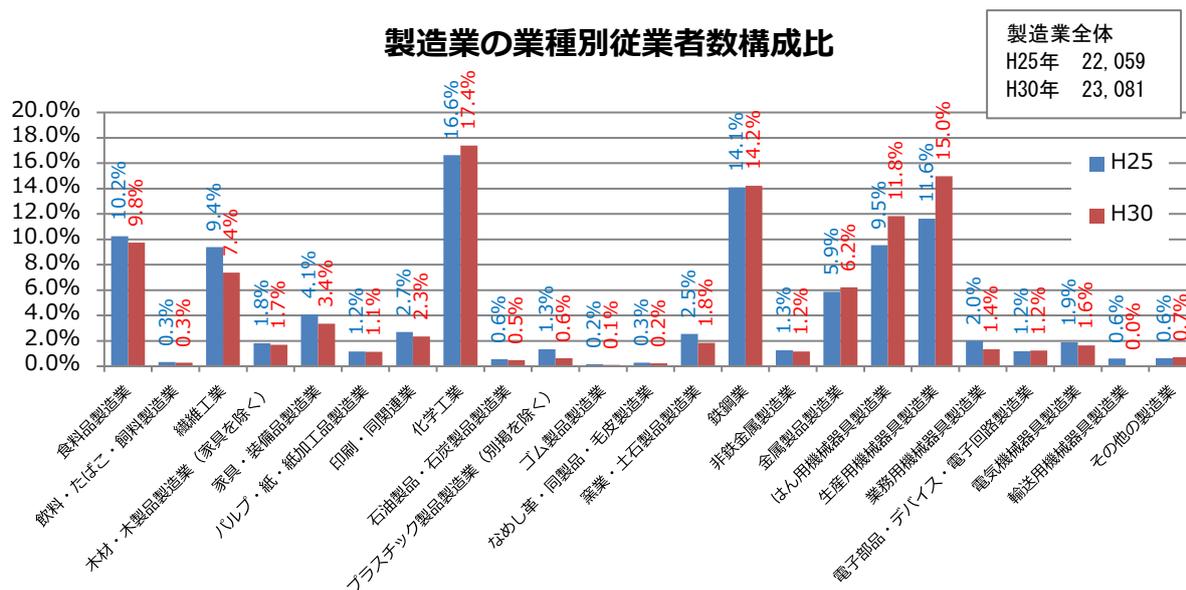
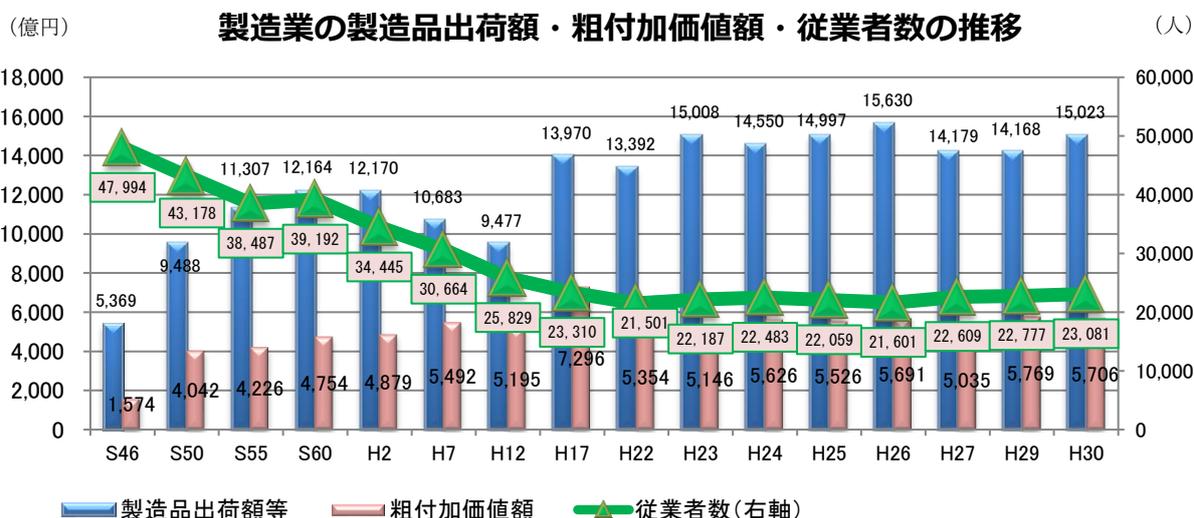
労働生産性の全国比較（全国 = 1）



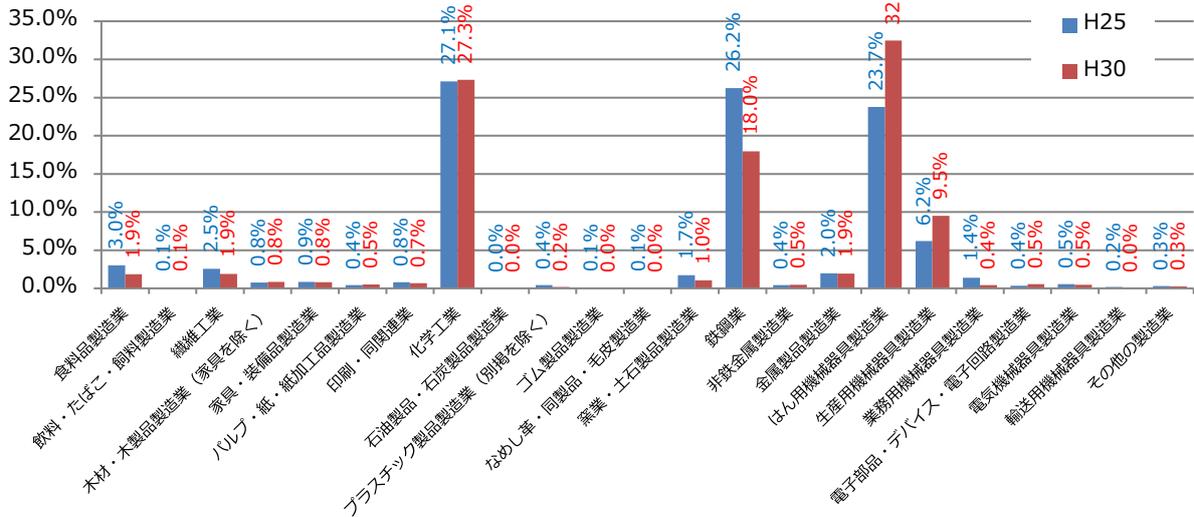
（出所）総務省「経済センサス活動調査」（平成 24・28 年）

2 製造業の状況

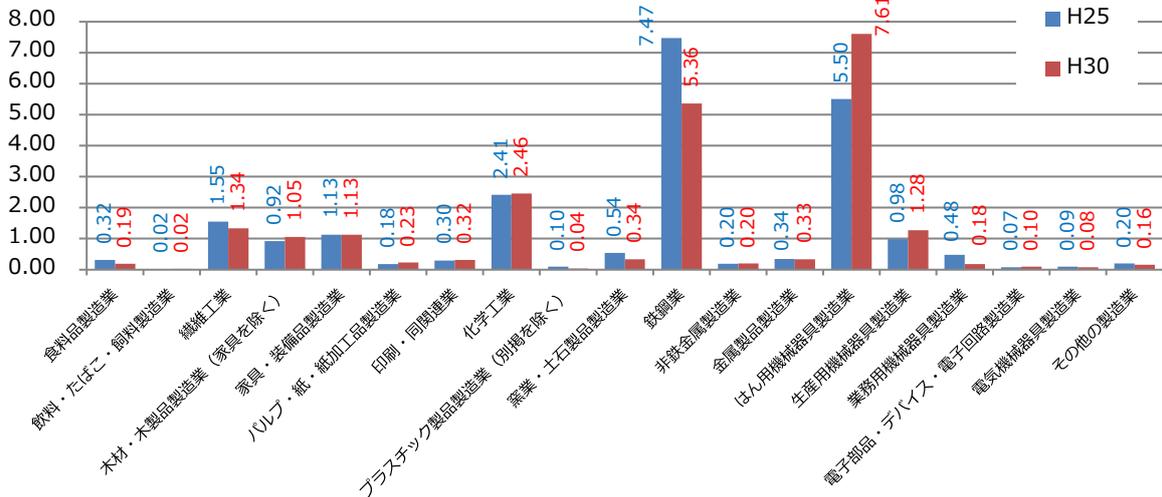
- 製造業については、ここ10年ほどの推移を見ると、多少のばらつきはあるものの、従業者数、製造品出荷額等、粗付加価値額ともに横ばい傾向が続いています。
- 従業者数の業種別割合を見ると、「化学工業」「金属製品製造業」「はん用機械器具製造業」「生産用機械器具製造業」などが伸びています。
- 付加価値額を見ると、「はん用機械器具製造業」が増加、「鉄鋼業」が減少するなどの変化はあるものの、「はん用機械器具製造業」「化学工業」「鉄鋼業」の3業種で製造業全体の約8割を占めている状況は変わっていません。
- 製造業全体での労働生産性については、差は少し縮まったものの、依然として全国平均を大きく上回る水準となっています。
- 製造業については、全体的に見るとビジョン策定時から構造的な大きな変化は見られていません。



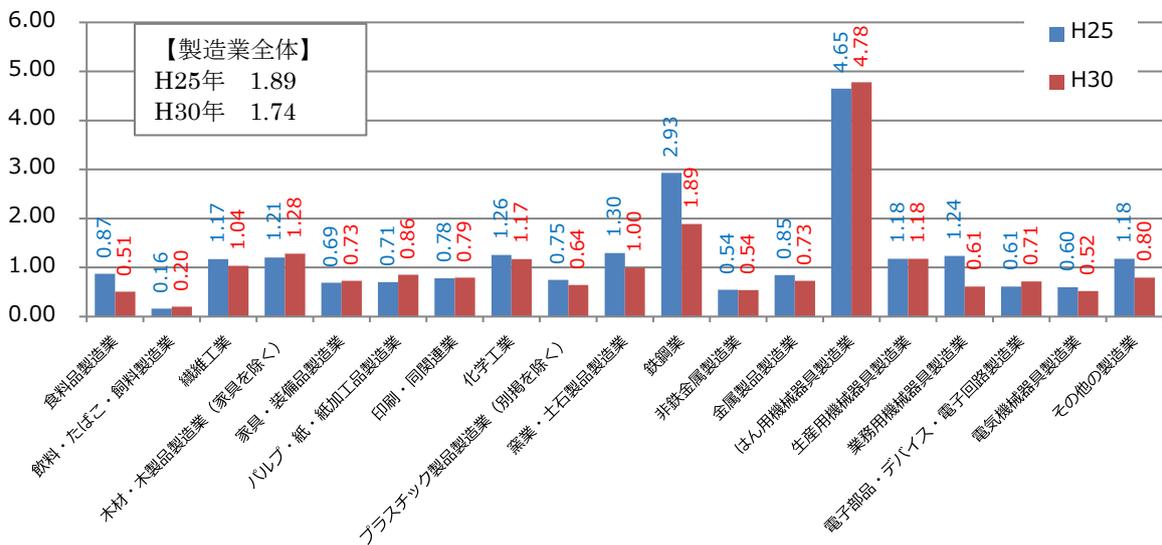
製造業の業種別付加価値額構成比



製造業の付加価値額の特化係数 (全国 = 1)



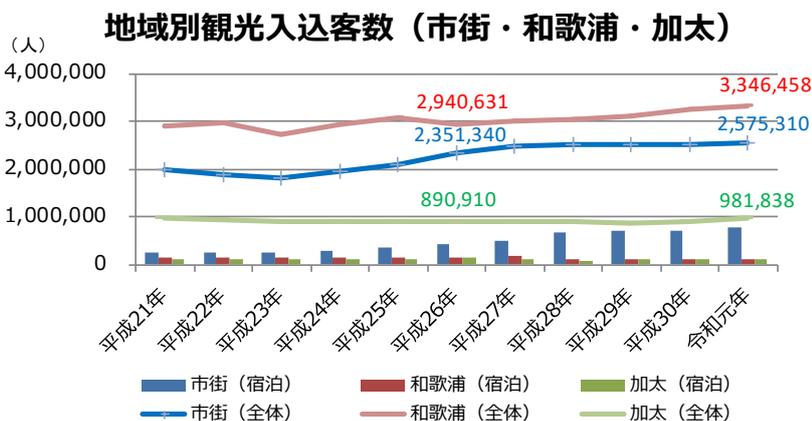
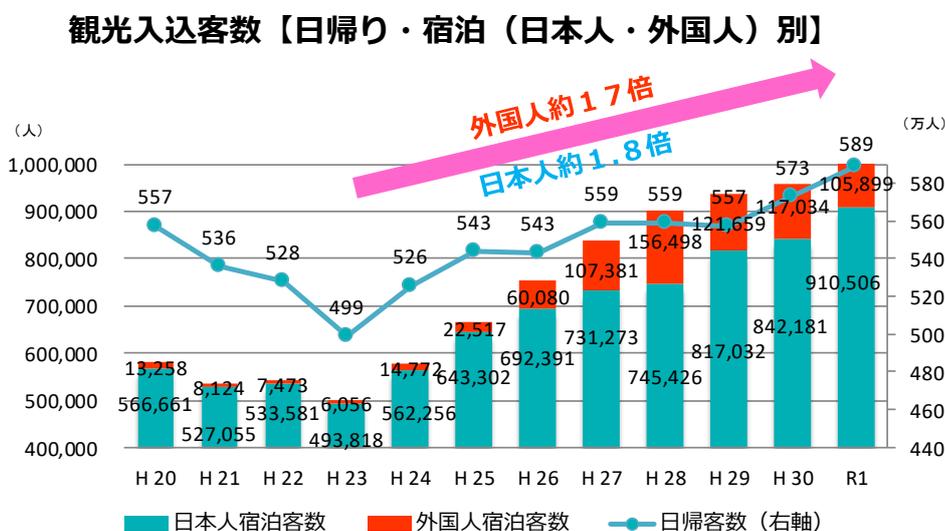
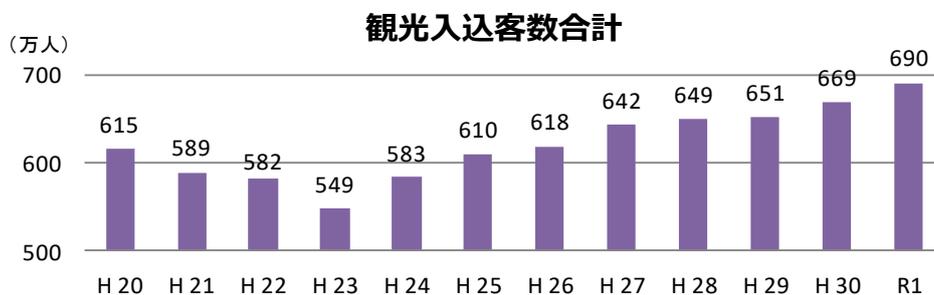
製造業の業種別労働生産性全国比較 (全国 = 1)



(出所) 経済産業省「工業統計調査」(各年版)

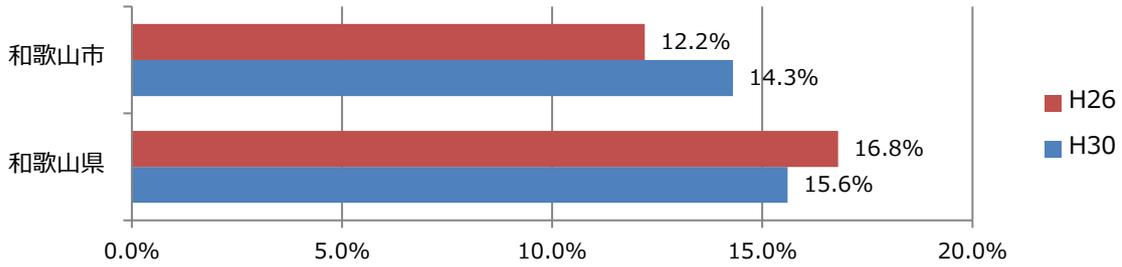
3 観光の状況

- 観光入込客数は増加傾向が続いています。
- 観光入込客数の内訳を見ると、日帰り客数や日本人宿泊者数が伸びている一方、外国人宿泊者数が減少に転じています。
- 地域別観光入込客数を見ると、市街・和歌浦・加太ともに観光客数は増加しています。中でも市街への宿泊客、和歌浦への日帰り客が特に増加しています。
- 宿泊者の発地別割合を見ると、外国や近畿圏からの割合が減少しているものの、関東圏や東海圏などからの宿泊者が増えています。
- 外国人宿泊客の国別推計を見ると、中国からの宿泊客数が急激に減少している一方で、数は少ないものの、欧米諸国からの宿泊者が徐々に増えつつあります。



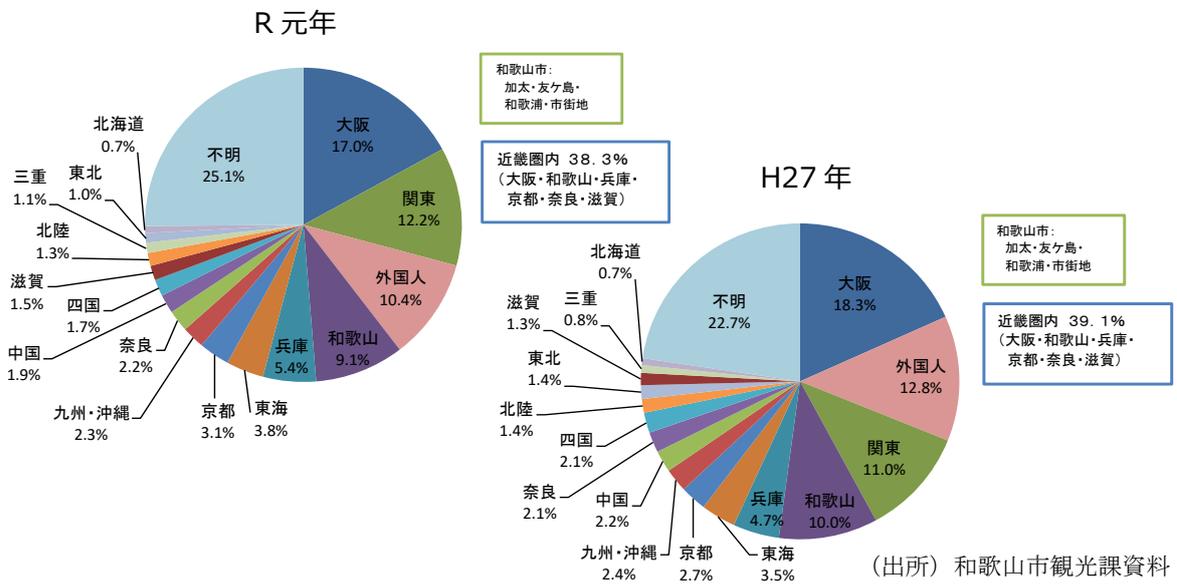
(出所) 和歌山市観光課資料

観光入込客数に占める宿泊客数割合

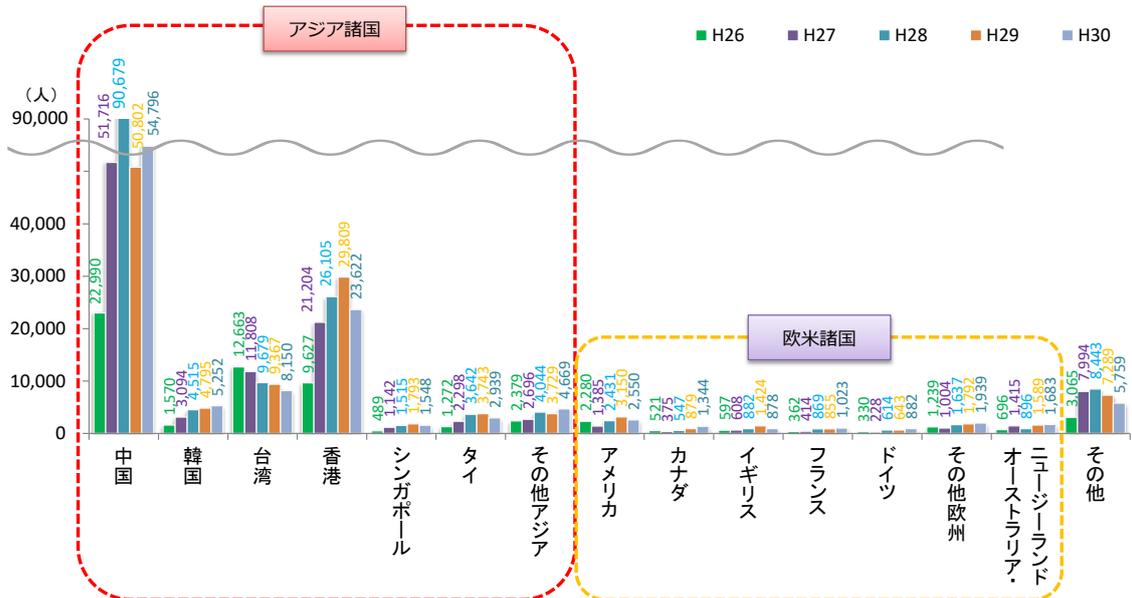


(出所) 和歌山県「観光客動態調査報告書」(各年版)

宿泊客の発地別割合



外国人宿泊客の国別推計



(出所) 和歌山県「観光客動態調査報告書」(各年版)

4 農業・漁業の状況

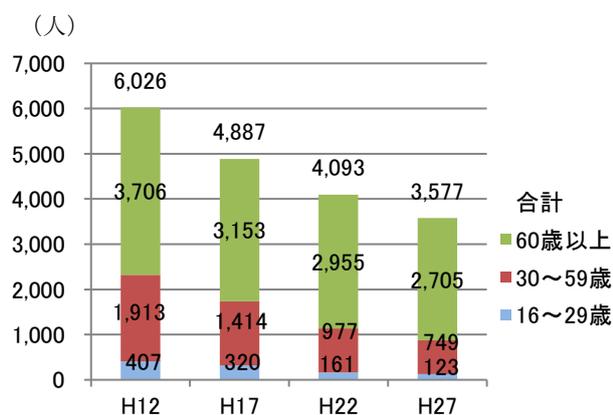
【農業】

- 農業就業人口が全体的に減少しているのに加え、60歳以上の割合が高まっており高齢化が進んでいます。近年の農産物出荷量を見ると、しょうが、にんじんは横ばいに推移している一方で、キャベツ、はくさい、だいこんなどは出荷量が減少しています。
- 耕地面積については、田も畑も年々減少し続ける状況となっています。
- 農業就業人口や耕地面積が減少する中で、農業算出額は増加傾向が続いており、農業従事者1人当たりの生産性が高まっていると考えられます。

【漁業】

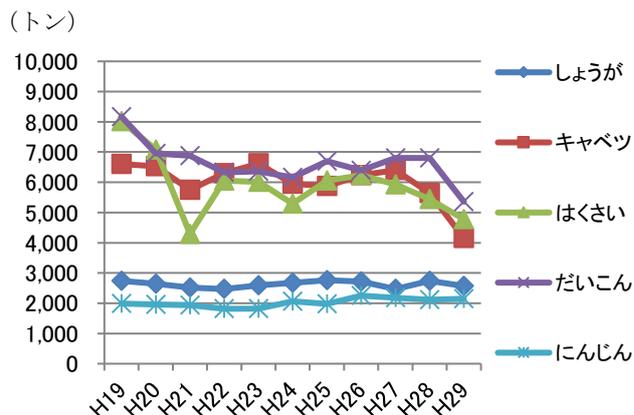
- 漁業就業人口も減少が続いています。水産物漁獲高を見ると、しらすは年によって漁獲高の変動が激しく、マダイ、はも、アジアカエビ等は横ばいで推移しています。
- 漁業就業人口が減少する中で、漁獲量については年によって変動はあるもののほぼ横ばいで推移しており、漁業についても漁業従事者1人当たりの生産性が高まっていると考えられます。

和歌山市の農業就業人口の推移



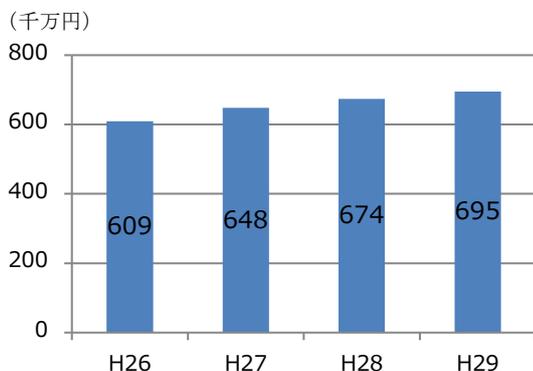
(出所) 農林水産省「農林業センサス」

和歌山市の主な農産物出荷量の推移



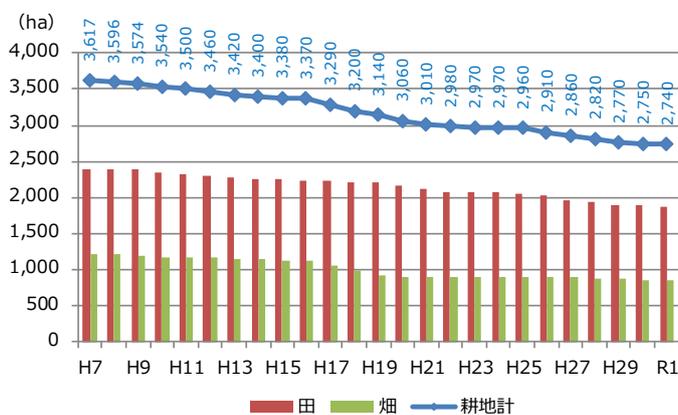
(出所) 市町村別統計数値

和歌山市の農業産出額の推移



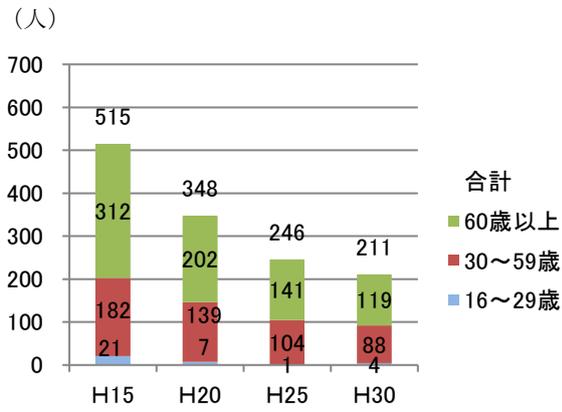
(出所) 農林水産省「市町村別農業産出額 (推計)」

和歌山市の田畑耕地面積の推移



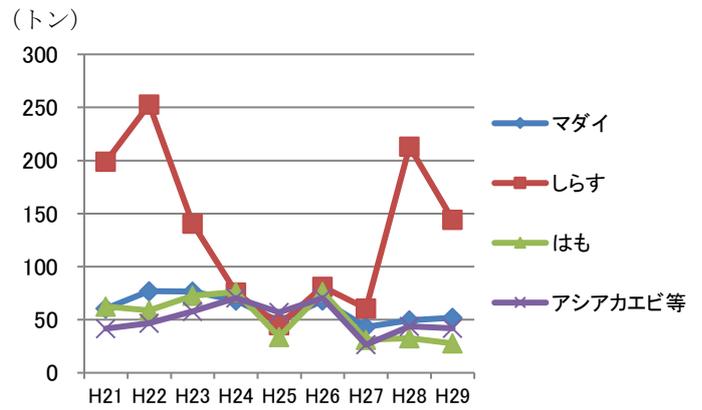
(出所) 農林水産省「作物統計」

和歌山市の漁業就業人口の推移



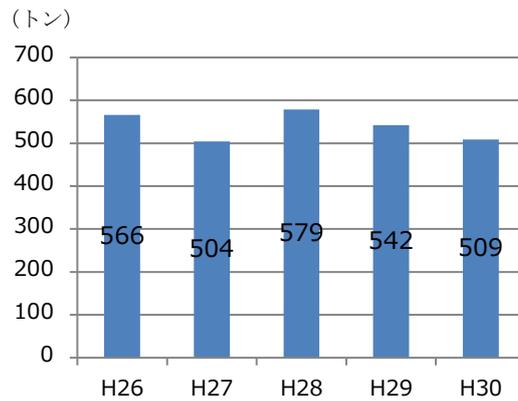
(出所) 農林水産省「漁業センサス」

和歌山市の主な水産物漁獲高の推移



(出所) 和歌山市農林水産課資料

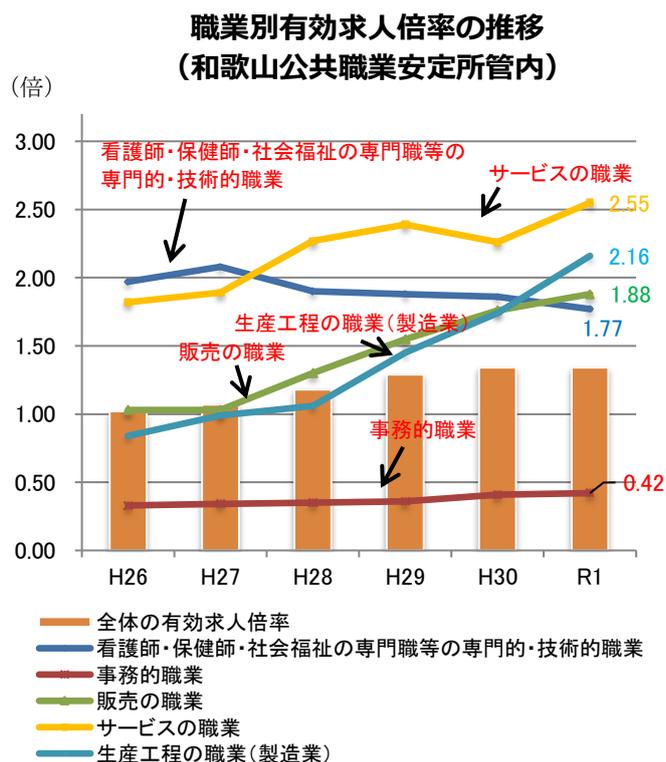
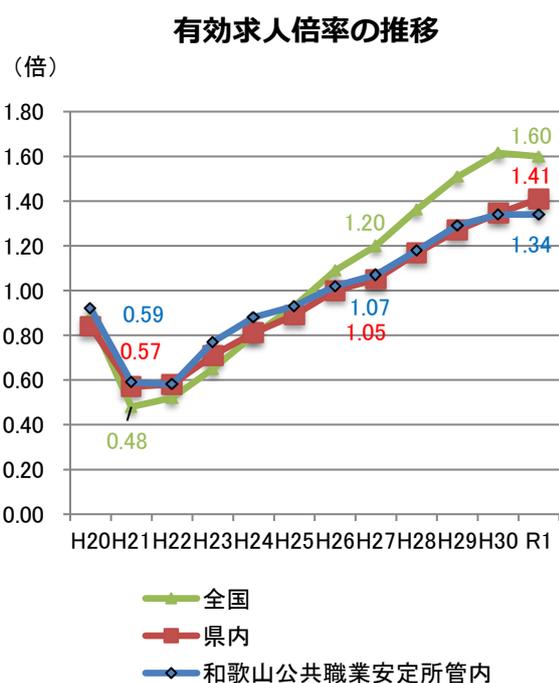
和歌山市の漁獲量の推移



(出所) 農林水産省「海面漁業生産統計調査」

5 雇用の状況

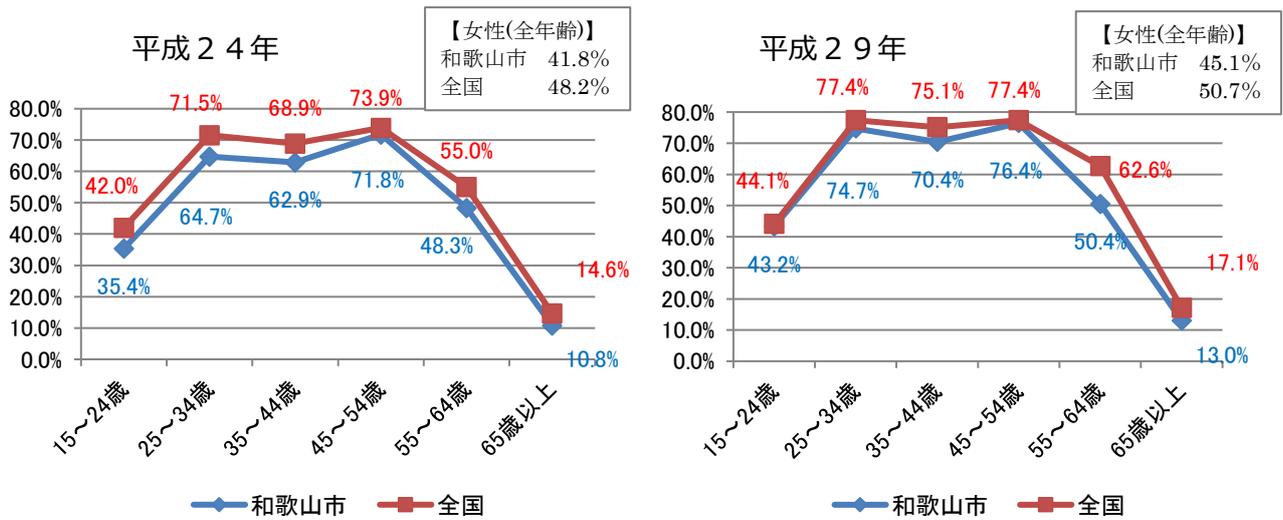
- 有効求人倍率は直近ではやや減少していますが、長期的には右肩上がり増加しています。全国での伸び率はさらに高く、その差が広がってきています。
- 職業別有効求人倍率を見ると、平成27年頃には看護師等の専門的・技術的職業やサービスの職業の有効求人倍率が1を大きく上回っていましたが、直近では販売の職業や生産工程の職業（製造業）も1を大きく上回っており、様々な業種において有効求人倍率の上昇傾向が鮮明になっています。ただし、事務的職業については0.4前後で推移しており、低い値となっています。
- 女性の有業率は全国と同様に出産・育児期の落ち込みはあるものの、全体的には上昇しつつあります。全国平均の有業率にはまだ届かないものの、伸び率については全国平均と比較して高くなっています。
- 市内全体及び55歳以上の有業率についても上昇しています。ただし、全国平均の有業率よりも低く、伸び率についても概ね全国平均よりも低い状況となっています。



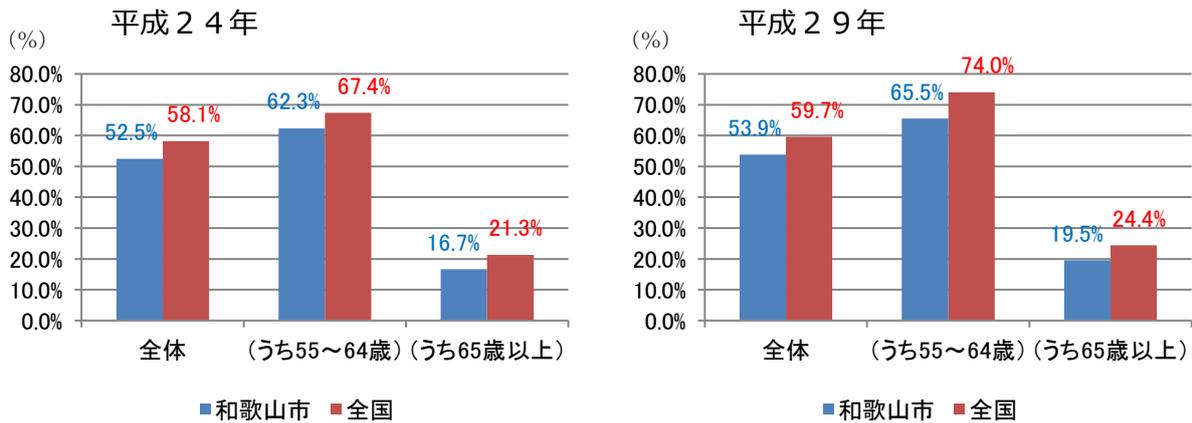
(注) 有効求人倍率は、季節調整なしの原数値を用いて集計。
 (注) 和歌山公共職業安定所管内には、和歌山市・岩出市・紀の川市が含まれる。

(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」(各月版)
 和歌山公共職業安定所「労働市場の動き」、「職業別求人・求職バランスシート」(各月版)

女性の年齢階層別有業率



全体（15歳以上）・高年齢層（55歳以上）の有業率



(出所) 総務省「就業構造基本調査」(平成24・29年)

6 開業・廃業の状況

- H21-24では、和歌山市の開業率は全国と和歌山県の水準を下回っていましたが、直近のH26-28では、開業率が全国と和歌山県の水準を上回っています。

	開業率		廃業率	
	H21-H24	H26-H28	H21-H24	H26-H28
和歌山市	1.39%	5.26%	5.65%	7.13%
和歌山県	1.44%	4.45%	5.58%	6.55%
全国	1.84%	5.04%	6.36%	7.76%

(注) 新設事業所の定義が異なることからH21-24とH26-28の開業率は単純比較できない。

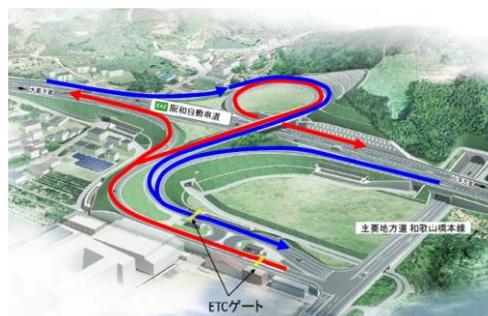
(出所) 総務省「経済センサス基礎調査」(平成21・26年)、「経済センサス活動調査」(平成24・28年)を加工

第4章 産業を取り巻く環境の変化

1 和歌山市の産業を取り巻く環境の変化

(1) 和歌山南スマートインターチェンジの開通

平成31年3月10日、和歌山南スマートインターチェンジとともに、アクセス道路となる主要地方道・和歌山橋本線、一般県道・三田海南線が合わせて開通しました。これにより、工業団地が立地する臨海部、和歌浦などの観光拠点へのアクセスが向上するなど、産業振興にも好影響が期待できます。



(NEXCO 西日本ホームページ掲載資料から抜粋)

(2) 第二阪和国道の全線開通（淡輪ランプ～平井ランプ開通）

平成29年4月1日、第二阪和国道の未整備区間であった淡輪～平井間が開通し、第二阪和国道が全線開通しました。これにより、大阪南部へのアクセスが向上し、渋滞の緩和、和歌山市への観光客数や企業立地に好影響が期待できます。

(3) 京奈和自動車道の岩出根来ICから和歌山JCT間の開通

平成29年3月18日、京奈和自動車道の岩出根来ICから和歌山JCT間が開通し、阪和自動車道と京奈和自動車道が接続されました。これにより、中部や関東方面へのアクセスが向上し、和歌山市への観光客数や企業立地に好影響が期待できます。

(4) まちなかへの大学誘致や再開発の進展

大学誘致、南海和歌山市駅前・友田町・北汀丁の再開発等により、まちなかの整備が進んでいます。今後、まちなかの生活利便性が高まることにより人口が増加し、賑わいの創出にも繋がるのが期待できます。

まちなかへの大学誘致の状況

2018.4 開学	東京医療保健大学（雄湊小学校跡）
2019.4 開学	和歌山信愛大学（本町小学校跡）
2020.4 予定	宝塚医療大学（県体力開発センター跡）
2021.4 予定	県立医科大学薬学部（伏虎中学校跡）



2020年春、南海和歌山市駅の商業棟・ホテル棟が完成予定

2 国内の産業を取り巻く環境の変化

(1) Society 5.0に向けた動き

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、日本政府が掲げる新たな社会像です。具体的にAIやIoT、ロボットなどの革新的な未来の技術を用いて、社会の様々なデータを活用することで、経済の発展と社会課題の解決の両立をめざし、あらゆる人が生き生きと快適に暮らせる社会を実現するとされています。



(政府広報オンラインから抜粋)

(2) 持続可能な開発目標（SDGs）実施に向けた動き

2015年の国連サミットにおいて全会一致で採択された、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会実現のための2030年を年限とする17の国際目標で、誰一人取り残さない社会の実現を目指し、経済、社会、環境をめぐる広範な課題に、総合的に取り組むものです。

本市は、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として、令和元年7月に内閣総理大臣から「SDGs 未来都市」に選定されました。また、令和2年1月にはSDGsの達成に向けた取組の推進につなげるためのプラットフォーム「和歌山市SDGs推進ネットワーク」を設立しました。



(3) 2025年の大阪関西万博開催に向けた動き

2025年国際博覧会が日本（大阪・関西）で開催されることが決定しました。国内外から約2800万人の来場者数が見込まれており、関西全域でどのような取組（サテライト会場の設置、関連イベントの実施等）が行われるのか等の具体的な内容についてはこれから決定していく段階ですが、大阪、関西のみならず国内経済への好影響が期待されています。

第5章 産業振興ビジョンのテーマ・戦略に基づく取組

1 産業振興ビジョンの4つの戦略テーマ及び12の戦略

テーマ1 既存産業の更なる成長促進

戦略【1-1】 製造業の強みを次世代に引き継ぐための中核的企業の発掘と成長促進

戦略【1-2】 歴史と伝統ある産業の持続的な発展を目指すためのブランド化

戦略【1-3】 地域の生活を支えるサービス産業の生産性向上

テーマ2 新事業創出と産業間連携等の促進

戦略【2-1】 生活を豊かにする新ビジネスの創出と創業者の育成

戦略【2-2】 和歌山の特産品・特性を活かしたコラボレーションの促進

戦略【2-3】 和歌山の魅力を総動員した企業立地の推進

テーマ3 観光の稼ぐ力の強化

戦略【3-1】 地域資源の再評価等によるブランド力の強化と観光資源の創出

戦略【3-2】 和歌山観光の効果的プロモーションによる滞在型観光の促進

戦略【3-3】 外国人観光客の誘客拡大

テーマ4 産業を支える「ひと」の確保と「まち」の形成

戦略【4-1】 和歌山を愛し、暮らし働く人材の育成・確保

戦略【4-2】 女性・高齢者など誰もが働きやすい環境づくり

戦略【4-3】 産業を支えるまちづくりの推進

2 戦略ごとのアクションプラン

テーマ1 既存企業の更なる成長促進

【1-1】製造業の強みを次世代に引き継ぐための中核的企業の発掘と成長促進

取組事項	計画期間と取組内容		
	R2年度	R3年度	R4年度
<p><Society5.0 関連> 【拡充】 ビジネスチャンス創出 支援事業における AI・ ロボット等の開発支援</p>	<p>国内及び海外展示会の出展にかかる費用を補助</p> <p>+</p> <p>【拡充】 AI・ロボット 等の先端技術を使 用した自社製 品の開発にかか る費用を補助</p>	<p>成果を検証し、随時見直し</p>	
<p>【拡充】 関係機関と連携した支 援継続と更なる支援策 検討</p>	<p>【商工会議所との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 経営発達支援計画や事業継続力強化支援計画に基づいた小規模事業者向け支援 ● 商工まつりへのチャレンジ新商品ブース出展 など <p>【連携協定締結保険会社との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市内企業への異業種交流会案内 ● BCP 策定支援セミナー等の共催 	<p>その他様々な関係機関と連携して随時拡充を検討</p>	
<p>【拡充】 企業情報・ニーズの収集 と支援施策の情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業からの要望への対応や連携 ● 主要企業情報の収集と成長企業の発掘 ● 企業情報やニーズの収集、市や関係機関で活用してもらえそうな支援制度の案内等 		
<p>【継続】 企業向け支援情報の提 供と市内企業のPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>産業振興プラットフォーム</u> → 本市の産業に関する様々な情報を集約するとともに、市内企業向け支援施策をPR ● <u>企業情報サイト</u> → インタビュー記事や求人情報等の市内企業に関する様々な情報を積極的に発信 		

【1-2】歴史と伝統ある産業の持続的な発展を目指すためのブランド化

取組事項	計画期間と取組内容		
	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
<p>【拡充】 チャレンジ新商品認定事業による継続実施と認定後支援のさらなる拡充検討</p>	<p>市内中小企業者が開発した新規性や独創性の高い新商品を認定して販路開拓や PR 支援し、ブランド化を促進</p> <p>【これまでの主な支援の拡充内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 商工まつりへのブース出展 (H28 年度～) ● ビジネスチャンス補助金の補助上限額上乘せ (H29 年度～) ● チャレンジ新商品グランプリを創設して、上記補助上限額をさらに上乘せ (H30 年度～) ● 商業施設での展示会の開催 (H30 年度～) <p style="text-align: right;"> 更なる支援の拡充を検討</p>		
<p>(再掲含む) 【拡充】 ビジネスチャンス創出支援事業による市内企業開発製品のブランド化支援</p>	<p>【すべての事業者】 「国内及び海外展示会の出展」、「先端技術を使用した自社製品の開発」にかかる費用を補助</p> <p style="text-align: center;">+</p> <p>【チャレンジ新商品認定事業者のみ】 ブランド化支援 チャレンジ新商品を対象として「自社製品の改良」「新商品の広告宣伝」にかかる費用を補助</p> <p style="text-align: right;"> 成果を検証し、随時見直し</p>		
<p>【継続】 地場産業の付加価値の高いものづくり支援</p>	<p>地場産業の人材育成や技術力向上促進、国内外への各種展示会出展を通じた販路開拓、伝統的工芸品の PR や後継者育成等の事業を実施</p>		
<p>【継続】 海外への販路開拓支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスチャンス創出支援事業による海外展開支援 → 海外販路開拓にかかる費用については他の支援メニューよりも高い補助上限額を設定して支援 ● 貿易アドバイザーの設置 → 専門的知識と語学による市内事業者の海外展開支援 ● 見本市参加・商談会開催 → 市内事業者とともに見本市への出展及び商談会の開催を行い、海外での販路開拓を促進 		

【1-3】地域の生活を支えるサービス産業の生産性向上

取組事項	計画期間と取組内容		
	R2年度	R3年度	R4年度
<p><Society5.0 関連> 【拡充】 IT・IoT、AI、ロボット等導入支援事業</p>	<p>IT・IoT ツールの導入により生産性が一定以上向上することが期待される市内中小企業者に補助金を交付（令和元年度～） ※支援対象は市内 IT 事業者から導入するツールに限定</p> <p style="text-align: center;">+</p> <p>【拡充】 AI・ロボット等の導入も補助対象に加え、補助上限額も上乗せ</p> <p>労働生産性の低い業種に対して重点的に支援を実施</p> <p>→ 成果を検証し、随時見直し</p>		
<p>【継続】 金融機関と連携した生産性向上セミナーの実施</p>	<p>本市と産業振興に係る連携協定を締結している地元金融機関と連携し、生産性向上セミナーを実施 【内容】 ●生産性向上の先進事例紹介 ●活用可能な市や国等補助金制度の紹介 など</p> <p>→ 上記の IT・IoT・AI・ロボット等導入支援事業の活用事例紹介等、内容の充実を検討</p>		
<p>【継続】 先端設備導入の促進</p>	<p>市内中小企業者が先端設備等導入計画に基づき設備投資した場合、対象となる償却資産に対する固定資産税を3年間ゼロに（～R3年度）</p> <p>➢ 市内企業の生産性向上に寄与</p>		
<p>【継続】 市産品登録制度と市産品の公共調達への優先活用</p>	<p>● 和歌山市の産品を市産品としてホームページに登録して周知・PR ● 市の物品調達や工事発注等で市産品を優先活用</p> <p>➢ 市産品の消費促進と地産地消の意識醸成を図り、域内消費の拡大に繋げる</p>		

テーマ2 新事業創出と産業間連携等の促進

【2-1】生活を豊かにする新ビジネスの創出と創業者の育成

取組事項	計画期間と取組内容		
	R2年度	R3年度	R4年度
【拡充】 地域おこし協力隊による空き家を活用した移住・起業支援	地域おこし協力隊制度を活用し、加太地区で空き家の実態調査を行い、その空き家を活用した起業等をコーディネート ▶ 加太を新たな起業者が集うエリアとし、人の繋がりによる活性化を目指す		
<Society5.0 関連> 【継続】 先端技術を活用した創業の支援	市内でAI・ロボット等を中核とした事業、先端技術を活用した情報通信サービス、ソフトウェア開発等の事業での創業を支援（R元年度～） ▶ 産業競争力強化、人手不足対策、若者の雇用促進といった本市の地域課題の解決に繋げていく		
【継続】 シニア、女性起業家への支援	日本政策金融公庫の対象となる起業家支援資金等を借り受けた方のうち、女性及びシニア（55歳以上）を対象に利子支払額の一部を補助 ▶ アクティブシニア層や女性の創業を支援		
【継続】 創業支援ネットワークによる創業支援	国の認定を受けた和歌山市創業支援事業計画に基づき、関係創業支援機関と連携し、創業に関する窓口相談、創業支援セミナー、金融支援、販路開拓支援などを実施（～R4年度予定） ▶ 創業前から創業後までの各ステージに応じた支援を実施 【連携創業支援機関】 和歌山市、和歌山商工会議所、日本政策金融公庫和歌山支店、わかやま産業振興財団（よろず支援拠点）、和歌山県信用保証協会		

【2-2】和歌山の特産品・特性を活かしたコラボレーションの促進

取組事項	計画期間と取組内容		
	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
【拡充】 農林水産業の生産力強化と担い手の育成	【農業】 遊休農地の解消に取り組む農業者、野菜等の生産拡大に向けて農業用井戸を設置又は掘替する農業者への支援		
	新規就農者への資金給付等による農業の担い手育成・確保		
	市民農園の開設等を支援		
	【漁業】 漁場の生産力を高めるため、魚礁及び増殖場を設置		
	 <ul style="list-style-type: none"> ●和歌浦に増殖場を設置（R元～2年度） ●加太の友ヶ島付近に魚礁を設置予定（R3～5年度） 		
漁業への新規就業者の確保に向けた取組支援（～R5年度）			
【その他】 森林環境譲与税を活用した施策の検討及び実施			
【継続】 農水産品の販売力強化	国内外で開催される見本市やテスト販売など、海外輸出に積極的に取り組む中央卸売市場内事業者を支援		
	水産物需要拡大（魚食普及）につながる取組の推進		
（再掲含む） 【継続】 チャレンジ新商品認定事業による6次産業化等の支援	認定対象商品を拡充して事業実施（H30年度～）		
	① 県内産農林水産物を原材料とした加工飲食料品を追加 ② 地場産品部門を追加 ➤ 市内の第2、3次産業者が中心となった6次産業化の促進 ➤ 地場産品の付加価値向上		
【継続】 異業種交流の機会創出とマッチングの促進	連携協定を締結している保険会社等と連携し、市内企業向けに異業種交流の機会を提供		
	和歌山市企業情報サイト内にある企業マッチングサイトによるビジネスマッチングの促進		
	IT・IoT・AI・ロボット等導入支援補助金や生産性向上セミナーによる市内企業間のビジネスマッチング促進		

【2-3】和歌山の魅力を総動員した企業立地の推進

取組事項	計画期間と取組内容		
	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
<p><Society5.0 関連> 【新規】 先端 ICT 関連企業の誘致に向けた取組</p>	<p>中心商業エリア、加太・和歌の浦などの特定地域への重点的な ICT 関連企業誘致に向け、企業立地促進奨励金制度の要件を緩和（R2 年度～） → オフィス奨励金の交付、雇用要件の緩和等</p> <p>➤ 産業振興に加え、市内中心部の空洞化抑制や周辺地域の活性化や地域課題の解決にも繋がる可能性がある</p>		
<p>【拡充】 企業立地促進奨励金制度の柔軟な見直し</p>	<p>企業立地促進奨励金制度、企業立地に関するワンストップ窓口による企業立地の推進を継続</p> <p>➡</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市内産業や企業の実情に応じた制度となるよう規制緩和や見直しを随時検討 ● 市内企業の流出抑制に向けた支援について検討 <p>【近年の主な見直し（拡充）内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対象業種にオフィス施設・植物工場を追加、投下固定資産や雇用の要件を緩和（H27 年度～） ● 対象業種にホテル・旅館業を追加（H28 年度～） ● 中心市街地に立地する IT 等情報通信サービス事業者向けのオフィス奨励金を新設（H29 年度～） 		
<p>【継続】 企業立地アドバイザーを活用した情報収集</p>	<p>専門的見地を有する企業立地アドバイザーを設置 → 発展性のある産業や企業情報、地方展開の動向、企業誘致に関する情報収集等</p>		
<p>【継続】 首都圏での誘致活動の継続</p>	<p>東京で開催される企業立地フェアへの参加、東京事務所を通じた首都圏での誘致活動を継続的に展開</p> <p>➡ H30 年度から令和元年度かけて首都圏から複数の IT 等オフィス系企業の誘致が実現</p>		

テーマ3 観光の稼ぐ力の強化

【3-1】地域資源の再評価等によるブランド力の強化と観光資源の創出

取組事項	計画期間と取組内容		
	R2年度	R3年度	R4年度
<p><Society5.0 関連> 【新規】 ビッグデータを活用した 観光動態調査</p>	<p>本市へ来訪する 観光客の滞在時 間、周遊実態等の 分析</p>		<p>効果的な観光振興施策の 展開に繋げる</p>
<p>【拡充】 ARでのガイド案内</p>	<p>多言語対応したARガイドを整備し、観光客への案内を実施</p>		
<p>【拡充】 本市の様々な観光資 源・観光インフラ整備</p>	<p>本市の様々な観光資源・観光インフラの整備を実施</p> <p>【市の保有施設関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 四季の郷公園のリニューアル整備（～R3年度） → 和歌山市初となる「道の駅」がオープン（R2年度） ● つつじが丘総合公園の整備（～R4年度） ● 和歌山城・扇の芝、公園内園路整備、動物園リニューアル ● 中央卸売市場に隣接する「道の駅」整備 → 市場内に総合食品センター棟がオープン（R2年度） ● 和歌山城ホールの整備（～R3年度） など <p> 利活用方法について横断的に協議</p> <p>【その他の観光資源や観光インフラ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本遺産・和歌の浦の周辺施設、文化財の整備 ● 友ヶ島の野奈浦栈橋整備・第4砲台跡整備等（～R3年度） ● 加太船着場公衆便所建替整備（～R2年度） ● サイクリングロード整備（～R4年度） など 		
<p>【新規・拡充】 観光資源の磨き上げに 向けた各種取組</p>	<p>観光資源の磨き上げに向けた各種取組を実施</p> <p>【観光資源の磨き上げに向けた各種取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タクシーのマナー向上に向けた取組（R元年度～） ● バスの交通系ICカードシステム導入支援（R元年度～） ● 和歌祭400年式年大祭に向けた取組（H30年度～R4年度） ● ホテル等の誘致（H28年度～） など 		
<p><Society5.0 関連> 【新規】 二次交通の充実</p>	<p>二次交通の充実に向けた取組についての検討開始</p> <p>グリーンスローモビリティ導入、シェアサイクルの導入、自動走行バスの実用化等について検討</p>		

【3-2】和歌山観光の効果的プロモーションによる滞在型観光の促進

取組事項	計画期間と取組内容		
	R2年度	R3年度	R4年度
<p>【拡充】 観光プロモーションの実施</p>	<p>観光大使によるブランドイメージの向上、観光発信人からの情報発信、ホームページ、SNS等によるプロモーション</p> <p>体験型観光商品の販売促進（和歌山城、加太、和歌の浦など）</p> <p>ふるさと観光大使記念ギャラリーの更新・充実</p>		
<p>【拡充】 滞在型観光促進のためのしかけづくり</p>	<p>各種イベント等に関連した誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東京オリンピック・パラリンピック企画「みんなの想火」プロジェクト（R2年度） ● 紀の国わかやま文化祭2021事業（R2～3年度）など → プレイイベント「(仮称)友ヶ島芸術祭」の開催（R2年度） <p>市内周遊・体験型プログラム等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市内周遊クーポンの開発・販売（R元年度～） ● 四季の郷公園のリニューアル（R3年度～） → 常時自然観察と農業体験ができる公園へ ● ARを活用した誘客促進（R元年度～） → 友ヶ島における音声ARガイドの拡充 → 和歌山城における音声ARガイドの導入（R2年度～） ● ブルートーリズムの推進（R2年度） → 加太のマダイ・マダコのブランド価値を高め、東京圏のプレス等を対象としたツアー実施 <p>ライトアップ・イルミネーション等による夜間観光の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 水辺の魅力的な夜間景観の創出とまちづくり（R元年度～） → 市堀川を中心としたまちなかの滞留時間を延ばす ● 商業活性化支援事業（H30年度～） → 商業団体が実施するナイトマーケット等の開催を補助 ● まちなかイルミネーション事業（H27年度～） ● 和歌山城の夜間ライトアップ など <p>➤ 本市に長時間滞在する観光客を増やし、観光消費増加を促進</p>		

【3-3】外国人観光客の誘客拡大

取組事項	計画期間と取組内容		
	R2年度	R3年度	R4年度
<p>【拡充】 外国人観光客向けプロモーション</p>	<p>SNSやWebサイト「my secret Wakayama」で旅行者に本市の魅力を発信</p> <p>現地でのプロモーション、商談会への参加、ファムトリップの受入、外国人向けパンフレットの作成 など</p> <p>+</p> <p>【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多言語版ラーメンマップの作成 (R2年度) ● Webサイト「my secret Wakayama」の充実 (R2年度) → 周辺他市と連携し、外国人観光客等のレンタカーによる誘客促進 		
<p>【新規】 外国人観光客が滞在しやすい環境整備</p>	<p>【新規】 まちあるきの満足度向上整備支援事業</p> <p>加太エリアの</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 無料Wi-Fi環境の整備 ● 劣化した案内看板更新 		
<p>【継続】 クルーズ船に対するおもてなし</p>	<p>歓迎イベントや地元産品販売、観光案内所の設置などにより市内への誘導と消費促進を図る</p> <p>【R2年度の主な入港予定クルーズ船】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● MSCベリッシマ (初寄港) 過去最大規模 ● ダイヤモンド・プリンセス ● ぱしふいっくびーなす など 		
<p>【継続】 姉妹都市・友好都市等との連携</p>	<p>姉妹都市や友好都市に和歌山コーナーを設けてパンフレットやサンプル品を展示してPR</p>		
<p>【継続】 観光客実態調査の実施</p>	<p>日本人・外国人観光客に対し満足度のアンケート調査を実施</p> <p>➡ 外国人観光客のさらなる誘客を図る</p>		

テーマ4 産業を支える「ひと」の確保と「まち」の形成

【4-1】和歌山を愛し、暮らし働く人材の育成・確保

取組事項	計画期間と取組内容		
	R2年度	R3年度	R4年度
(再掲) 【拡充】 地域おこし協力隊による空き家を活用した移住・起業支援	地域おこし協力隊制度を活用し、加太地区で空き家の実態調査を行い、その空き家を活用した起業等をコーディネート ▶ 加太を新たな起業者が集うエリアとし、人の繋がりによる活性化を目指す		
【継続】 移住定住の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京圏や近畿圏で実施される移住フェアで和歌山市の魅力を発信して移住定住を促進（H29年度～） ● 移住支援金による東京からの移住促進（H31年度～） 		
【継続】 わかやま就職応援プロジェクト等の実施による市内就職促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市部でのマッチングイベント（合同企業説明会） ● 市内でのマッチングイベント（合同企業説明会） ● 学生と企業の就活交流会 ● 企業見学バスツアー ● インターンシップ などの実施 ▶ U I J ターンを含めた学生の市内就職を促進		
【継続】 高等教育機関の充実（大学等の誘致）	専門性の高い大学の誘致を図る ▶ 若い世代の市外流出抑制に繋げる		
【継続】 人材不足の専門的職種への支援	医療、介護、福祉等の分野に就職し、一定期間定着した方の奨学金返還を支援		
【継続】 外国人の人材育成・活用・受入態勢の充実	在住外国人向けに日本語教室や防災講座等を実施 関係機関と連携し外国人材受入に係る情報を企業へ提供		

【4-2】女性・高齢者など誰もが働きやすい環境づくり

取組事項	計画期間と取組内容		
	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
<p>【拡充】 子育て支援環境の充実</p>	<p>● 延長保育事業・一時預かり・病児保育事業の実施</p> <p>● ファミリーサポートセンター事業の実施</p> <p>● 育児支援助成事業</p>		
	<p>【拡充】</p> <p>● 放課後児童健全育成事業（若竹学級）の新規開級</p> <p>● 若竹学級の運営の民間委託を実施</p> <p>➢ 子育て中の女性が働きやすい社会を促進</p>		
<p>【継続】 働く女性の活躍推進事業</p>	<p>託児付きの合同企業説明会等を開催</p> <p>➢ これから働こうとする子育て中の女性と市内企業とのマッチングを図る</p>		
<p>【継続】 男性子育ての推進</p>	<p>市内の企業経営者、管理職または主に子育て中の方等を対象に講習会やワークショップを実施</p> <p>➢ 部下のワーク・ライフ・バランスを応援する「イクボス」の推進</p> <p>➢ 男性の子育て参加に理解ある環境づくりの推進</p>		
<p>【継続】 高齢者の社会参加に向けた支援</p>	<p>シルバー人材センター等の活動を支援</p> <p>➢ 高齢者それぞれのライフスタイルに合わせた働く機会の提供</p> <p>➢ 高齢者の社会参加による生きがいのある生活の実現、地域社会の福祉の向上と活性化に繋げる</p>		
<p>【継続】 障害者雇用の促進に向けた支援</p>	<p>障害者雇用に積極的な企業の紹介や雇用率未達成企業に対する働きかけの実施</p> <p>奨励金の給付、職場開拓推進員による企業訪問や相談支援</p> <p>➢ 働く能力と意欲を持つ障害者の方が就労できるよう支援</p>		

【4-3】産業を支えるまちづくりの推進

取組事項	計画期間と取組内容		
	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
<p><Society5.0 関連> 【拡充】 道路・交通ネットワーク の整備促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 和歌山環状道路の一部である京奈和自動車道の延伸を国に要望 市内幹線道路（都市計画道路）の整備 		
	<ul style="list-style-type: none"> 地域バス導入、効果的な BRT、LRT 等の導入可能性を検討 		
	<p>+</p> <p>【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動走行バスの実用化、ラストワンマイルの交通確保、ICT を活用した MaaS の取組等について検討 バスロケーションシステム、交通系 IC カードシステムの蓄積データを活用したバス路線の現状把握と見直し シェアサイクルの推進を検討 		
<p>【継続】 まちなか再生に向けた 整備</p>	<p>持続可能な多極ネットワーク型コンパクトシティを目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌山城ホールの整備（～R3 年度） 市駅前広場の整備（～R2 年度） 市道中橋線の整備（～R3 年度） （仮称）市営北駐車場整備（～R2 年度） （仮称）城前広場の整備（～R2 年度） <p>など</p>		
<p>【継続】 市街地再開発事業</p>	<p>市街地再開発事業を行う事業者を支援</p> <p>【再開実施地区（～R2 年度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌山市駅前地区 友田町四丁目地区 北汀丁地区 <p>和歌山市駅前、県庁交差点周辺、和歌山駅等での新たな整備を検討</p>		
<p>【継続】 まちなかへ人を誘導す ための取組</p>	<p>まちなかへ人を誘導して賑わいの創出を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> リノベーションまちづくりの推進 → まちなかの遊休不動産再生とまちづくり人材の育成 リノベーションスクール（企業版）の新規実施 商業活性化支援事業（H30 年度～） → 商業団体が実施するナイトマーケット等の開催を補助 まちなかイロドリ（H27 年度～） → 空き店舗を活用して試行的に出店する場を設けること で、将来のまちなかでの出店を促進 <p>など</p>		

第6章 中期アクションプランの目標

各戦略テーマの成果指標と目標値を次のとおり設定します。

テーマ1 既存産業の更なる成長促進

テーマ2 新事業創出と産業間連携等の促進

成果指標	現状値（R1）	目標値（R4）
①製造業の粗付加価値額	5,706億円【H30年】	6,162億円
②サービス産業の労働生産性	413万円/人【H28年】 (全国平均499万円)	全国平均に近づける
③創業件数	140件【H30年】	140件【R4年】
④企業立地による新規雇用者数	239人【H28～30年】	252人【R2～4年累計】
⑤農業産出額	69.5億円【H29年】	69.5億円 (H26農業産出額を基準)

テーマ3 観光の稼ぐ力の強化

成果指標	現状値（R1）	目標値（R4）
⑥年間宿泊客数	101.6万人泊【R1年】	105万人泊
⑦観光消費額	496億円【R1年】	511億円

テーマ4 産業を支える「ひと」の確保と「まち」の形成

成果指標	現状値（R1）	目標値（R4）
⑧転入者数	8,775人【H30年】	9,300人 【R6年】
⑨新規学卒者の市内就職率（和大）	14.6%【H30年】	15.5%
⑩有業率	53.9%【H29年】 (全国平均59.7%)	全国平均に近づける
⑪まちなか居住人口の比率	8.8%【H30年】	9.2%

※ 目標値は、第5次和歌山市長期総合計画で設定している指標、及び令和元年度に策定する第2期和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定した指標等に準拠しています。